株式会社大気社

決算説明会資料

2024年3月期 第2四半期(2023年度)

2023年11月16日





目 次 INDEX

1. 連結業績の概要	社長:長田 雅士	P.03
2. セグメント別業績の概要	管理本部長:中島 靖	P.08
3. 連結財務諸表		P.22
4. 中期経営計画の進捗 (2022年度~2024年度)	経営企画本部長:中川正徳	P.26
5. 株主還元		P.38
6. Appendix		P.41



目次 INDEX

1. 連結業績の概要	社長:長田 雅士	P.03
2. セグメント別業績の概要		P.08
3. 連結財務諸表		P.22
4. 中期経営計画の進捗 (2022年度~2024年度)		P.26
5. 株主還元		P.38
6. Appendix		P.41



売上と利益において上期過去最高を達成

市場環境(国内)

半導体関連や自動車メーカーによる投資が 継続しており、都市圏における再開発の需 要も堅調に推移した。

市場環境(海外)

世界経済の減速懸念はあるものの、各メーカーによる設備投資は堅調に推移した。

受注工事高

完成工事高

経常利益

親会社株主に帰属する 当期純利益

1,271億円

1,304億円

81億円

66億円

前年同期比 -21.5%

前年同期比 +52.0%

前年同期比 +73.9%

前年同期比 +171.2%



全ての項目において、予想を上回る

(億円)	2023年3月期 2Q実績	2024年3月期 2Q実績	前年同期比 増減
受注工事高	1,620	1,271	-348
完成工事高	857	1,304	446
経常利益	46	81	34
経常利益率	5.4%	6.2%	0.8pt
親会社株主に帰属 する四半期純利益	24	66	41
当期純利益率	2.8%	5.1%	2.2pt
EPS	71.79円	199.51円	127.71円

2024年3月期 2Q予想	予想比 差異
1,180 [*]	91
1,271	33
63	18
5.0%	1.3pt
46	20
3.6%	1.5pt
-	-

※ 第1四半期決算時に修正

■ 主要拠点の為替レート

(円)	① 2023年3月期 2Q	2 2024年3月期 2Q	③ 2024年3月期 期初想定
USドル	123.18	135.99	128.00
タイバーツ	3.64	3.95	3.85
人民元	18.98	19.47	18.80
インドルピー	1.70	1.72	1.57

為替影響額

●と**②**の為替差による影響 完成工事高:25億円/経常利益:1億円

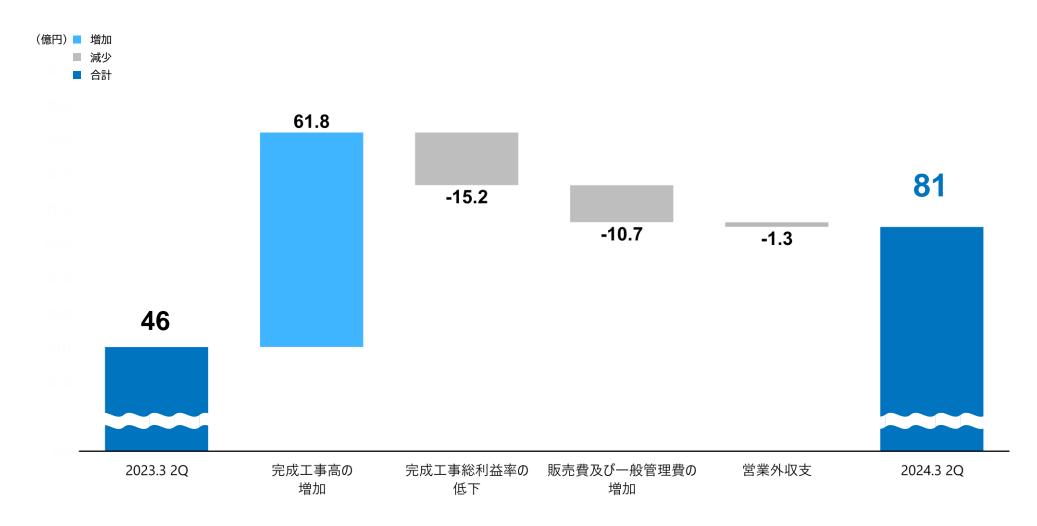
2と❸の為替差による影響

完成工事高:23億円/経常利益:1億円



完成工事高増により前年同期比で増加

■ 経常利益の主な増減要因(前年同期比)





全ての項目で期初予想を上回る見込み

通期業績予想]業績予想 2023年3月期 実績			24年3月期 新予想※		
(億円)	上期	下期	通期	上期実績	下期	通期
受注工事高	1,620	1,266	2,886	1,271	983	2,255
完成工事高	857	1,290	2,147	1,304	1,545	2,850
営業利益	38	77	115	74	70	145
経常利益	46	83	130	81	73	155
親会社株主に帰属 する当期純利益	24	54	79	66	38	105
ROE			6.3%			8.2%

2024年3月期 期初予想	予想比 差異
通期	通期
2,180	75
2,550	300
131	14
140	15
93	12
7.3%	0.9pt

■ 主要拠点の為替レート

※ 完成工事高および利益に関しては、11月13日開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」により修正

(円)	2023年3月期 実績	❶ 2024年3月期 新想定	② 2024年3月期 期初想定
USドル	130.78	138.00	128.00
タイバーツ	3.73	3.85	3.85
人民元	19.39	18.80	18.80
インドルピー	1.68	1.72	1.57

■ 為替変動による影響額

2024年3月期業績予想において、全為替レートが1%変動した場合の影響額

完成工事高:13億円/経常利益:0.6億円

●と②の為替差による影響

完成工事高:53億円、経常利益:2億円



目次 INDEX

1. 連結業績の概要		P.03
2. セグメント別業績の概要	管理本部長:中島 靖	P.08
3. 連結財務諸表		P.22
4. 中期経営計画の進捗 (2022年度~2024年度)		P.26
5. 株主還元		P.38
6. Appendix		P.41



環境システム事業は減少、塗装システム事業は増加

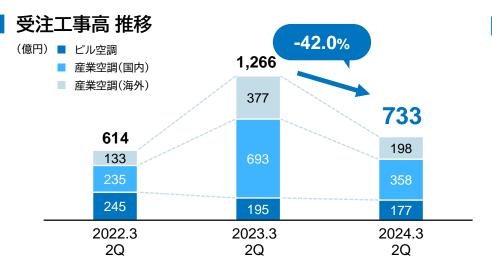
(億円)	2023年3月期 2Q実績	2024年3月期 2Q実績	前年同期比 増減	2024年3月期 2Q予想※	予想比 差異
受注工事高合計	1,620	1,271	-348	1,180	91
うち国内	1,050	702	-348	630	72
うち海外	569	569	-0	550	19
環境システム事業	1,266	733	-532	730	3
ビル空調	195	177	-18	135	42
産業空調	1,070	556	-513	595	-38
塗装システム事業	354	537	183	450	87

※ 第1四半期決算時に修正

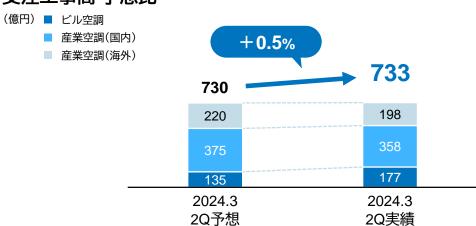


産業空調の大型案件の反動減により、前年同期比で減少

(億円)	2023年3月期 2Q実績	2024年3月期 2Q実績	前年同期比 増減	2024年3月期 2Q予想	予想比 差異
環境システム事業 受注工事高	1,266	733	-532	730	3
ビル空調	195	177	-18	135	42
産業空調	1,070	556	-513	595	-38
うち国内	693	358	-334	375	-16
うち海外	377	198	-178	220	-21
海外比率	29.8%	27.0%	-2.8pt	30.1%	-3.1pt



受注工事高 予想比





国内、海外ともに前年同期比で増加

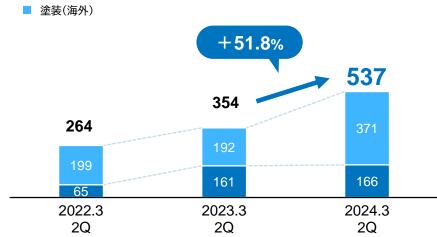
(億円)	2023年3月期 2Q実績	2024年3月期 2Q実績	前年同期比 増減
塗装システム事業 受注工事高	354	537	183
うち国内	161	166	4
うち海外	192	371	178
海外比率	54.4%	69.0%	14.6pt

2024年3月期 2Q予想※	予想比 差異
450	87
120	46
330	41
73.3%	-4.3pt

※ 第1四半期決算時に修正

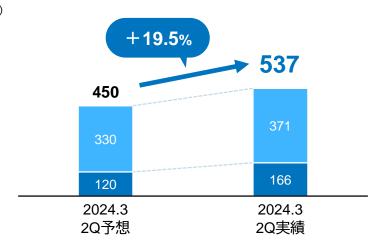
受注工事高 推移

(億円) ■ 塗装(国内)



■ 受注工事高 予想比

(億円) ■ 塗装(国内) ■ 塗装(海外)

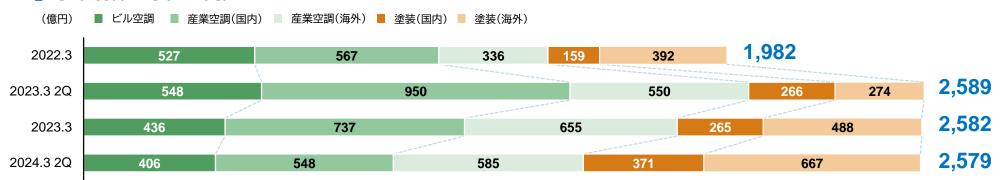




塗装システム事業の増加により、繰越工事量を維持

(億円)	2022年3月期通期 A	2023年3月期2Q B	2023年3月期通期 C	2024年3月期2Q D	増減 C-A	増減 D-B
受注工事高	2,321	1,620	2,886	1,271	565	-348
完成工事高	2,092	857	2,147	1,304	55	446
繰越工事高	1,982	2,589	2,582	2,579	600	-10
環境システム事業	1,431	2,048	1,828	1,540	397	-507
ビル空調	527	548	436	406	-91	-141
産業空調	903	1,500	1,392	1,134	488	-366
塗装システム事業	551	541	754	1,038	202	497

事業別繰工事高の内訳





環境システム事業、塗装システム事業ともに増収増益

33 31 1
1
9
-3
12
23
18
1.3pt
8
0.8pt
5
2.3pt



予想比 差異

9

-3

12

16

-3

8

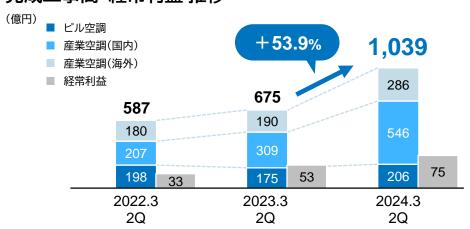
-0.6pt

0.8pt

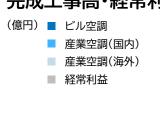
産業空調分野がけん引し増収増益を達成

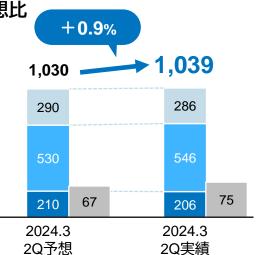
(億円)	2023年3月期 2Q実績	2024年3月期 2Q実績	前年同期比 増減	2024年3月期 2Q予想
環境システム事業 完成工事高	675	1,039	364	1,030
ビル空調	175	206	31	210
産業空調	500	832	332	820
うち国内	309	546	236	530
うち海外	190	286	95	290
海外比率	28.2%	27.5%	-0.6pt	28.2%
環境システム事業 経常利益	53	75	22	67
経常利益率	7.9%	7.3%	-0.6pt	6.5%

完成工事高・経常利益 推移



完成工事高·経常利益 予想比





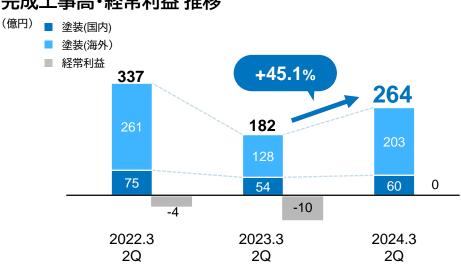


海外がけん引し増収増益を達成 経常損失から経常利益に転換

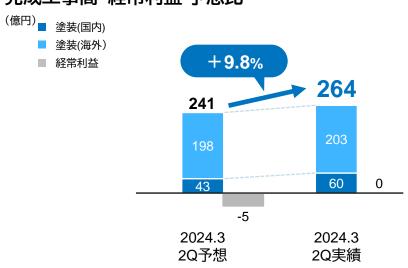
(億円)	2023年3月期 2Q実績	2024年3月期 2Q実績	前年同期比 増減	2
塗装システム事業 完成工事高	182	264	82	
うち国内	54	60	6	
うち海外	128	203	75	
海外比率	70.2%	77.0%	6.7pt	
塗装システム事業 経常利益	-10	0	10	
経常利益率	-5.7%	0.2%	5.9pt	

2024年3月期 2Q予想	予想比 差異
241	23
43	17
198	5
82.2%	-5.2pt
-5	5
-2.1%	2.3pt

■ 完成工事高・経常利益 推移



完成工事高·経常利益 予想比





環境システム事業、塗装システム事業ともに減少を見込む

	2	023年3月其 実績	Ħ	20)24年3月期 新予想	期
(億円)	上期	下期	通期	上期実績	下期	通期
受注工事高合計	1,620	1,266	2,886	1,271	983	2,255
うち国内	1,050	476	1,527	702	617	1,320
うち海外	569	789	1,359	569	365	935
環境システム事業	1,266	814	2,080	733	796	1,530
ビル空調	195	166	361	177	132	310
産業空調	1,070	648	1,718	556	663	1,220
塗装システム事業	354	451	805	537	187	725

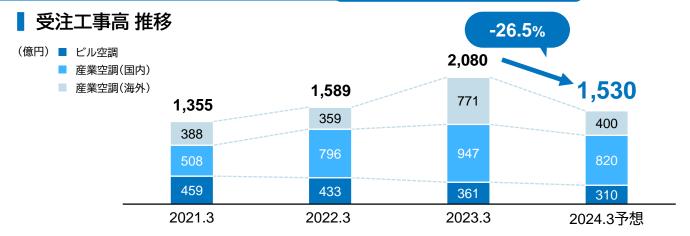
2024年3月期 期初予想	予想比 差異
通期	通期
2,180	75
1,240	80
940	-5
1,530	-
230	80
1,300	-80
650	75



期初想定通りの受注を見込む

	2023年3月期 実績			2	024年3月 新予想	期
(億円)	上期	下期	通期	上期実績	下期	通期
環境システム事業 受注工事高	1,266	814	2,080	733	796	1,530
ビル空調	195	166	361	177	132	310
産業空調	1,070	648	1,718	556	663	1,220
うち国内	693	254	947	358	461	820
うち海外	377	394	771	198	201	400
海外比率	29.8%	48.4%	37.1%	27.0%	25.4%	26.1%

2024年3月期 期初予想 ^{通期}	予想比 差異 ^{通期}
1,530	-
230	80
1,300	-80
850	-30
450	-50
29.4%	-3.3pt



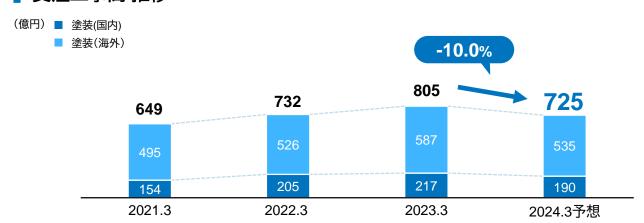


想定以上の受注確保により、期初予想を上回る見込み

	2023年3月期 実績			2	2024年3月 新予想	期
(億円)	上期	下期	通期	上期実績	下期	通期
塗装システム事業 受注工事高	354	451	805	537	187	725
うち国内	161	56	217	166	23	190
うち海外	192	395	587	371	163	535
海外比率	54.4%	87.6%	73.0%	69.0%	87.6%	73.8%

2024年3月期 期初予想 ^{通期}	予想比 差異 ^{通期}
650	75
160	30
490	45
75.4%	-1.6pt

■ 受注工事高 推移





環境システム事業は増収減益、塗装システム事業は増収増益を見込む

	2	2023年3月期 実績			024年3月期 新予想	期
(億円)	上期	下期	通期	上期実績	下期	通期
完成工事高合計	857	1,290	2,147	1,304	1,545	2,850
うち国内	539	802	1,342	814	666	1,481
うち海外	318	487	805	489	879	1,369
環境システム事業	675	1,042	1,718	1,039	1,060	2,100
ビル空調	175	278	453	206	183	390
産業空調	500	764	1,264	832	877	1,710
塗装システム事業	182	247	429	264	485	750
経常利益合計	46	83	130	81	73	155
経常利益率	5.4%	6.5%	6.1%	6.2%	4.8%	5.4%
環境システム事業	53	92	145	75	62	138
経常利益率	7.9%	8.9%	8.5%	7.3%	5.9%	6.6%
塗装システム事業	-10	-5	-16	0	18	19
経常利益率	-5.7%	-2.3%	-3.7%	0.2%	3.8%	2.5%

2024年3月期 期初予想	予想比 差異
通期	通期
2,550	300
1,356	125
1,194	175
1,925	175
330	60
1,595	115
625	125
140	15
5.5%	-0.1pt
132	6
6.9%	-0.3pt
9	10
1.4%	1.1pt



想定以上の工事進捗により、完工・利益ともに期初予想を上回る見込み

	2023年3月期 実績			2	2024年3月 新予想	胡
(億円)	上期	下期	通期	上期実績	下期	通期
環境システム事業 完成工事高	675	1,042	1,718	1,039	1,060	2,100
ビル空調	175	278	453	206	183	390
産業空調	500	764	1,264	832	877	1,710
うち国内	309	467	777	546	413	960
うち海外	190	297	487	286	463	750
海外比率	28.2%	28.5%	28.4%	27.5%	43.7%	35.7%
環境システム事業 経常利益	53	92	145	75	62	138
経常利益率	7.9%	8.9%	8.5%	7.3%	5.9%	6.6%

2024年3月期 期初予想	予想比 差異
通期	通期
1,925	175
330	60
1,595	115
895	65
700	50
36.4%	-0.6pt
132	6
6.9%	-0.3pt



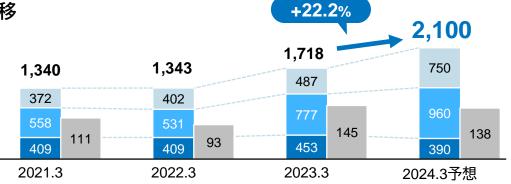
(億円)

■ ビル空調

■ 産業空調(国内)

産業空調(海外)

■ 経常利益



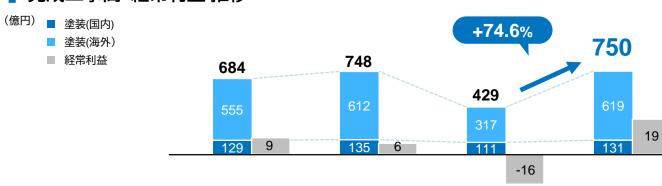


想定以上の工事進捗により、完工・利益ともに期初予想を上回る見込み

	2023年3月期 実績			2	024年3月其 新予想	Я
(億円)	上期	下期	通期	上期実績	下期	通期
塗装システム事業 完成工事高	182	247	429	264	485	750
うち国内	54	57	111	60	70	131
うち海外	128	189	317	203	415	619
海外比率	70.2%	76.8%	74.0%	77.0%	85.6%	82.5%
塗装システム事業 経常利益	-10	-5	-16	0	18	19
経常利益率	-5.7%	-2.3%	-3.7%	0.2%	3.8%	2.5%

2024年3月期 期初予想	予想比 差異
通期	通期
625	125
131	-
494	125
79.0%	3.5pt
9	10
1.4%	1.1pt

■ 完成工事高·経常利益 推移



2022.3

2023.3

2024.3予想

2021.3

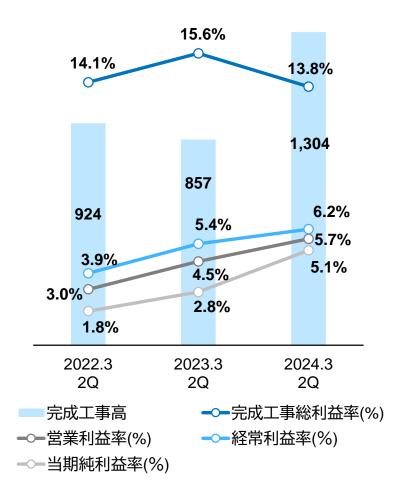


目次 INDEX

1. 連結業績の概要		P.03
2. セグメント別業績の概要		P.08
3. 連結財務諸表	管理本部長:中島 靖	P.22
4. 中期経営計画の進捗 (2022年度~2024年度)		P.26
5. 株主還元		P.38
6. Appendix		P.41



2022年2日期	2022年2日期	2024年3月期
2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	2024年3月期 2Q
924	857	1,304
130	134	180
14.1%	15.6%	13.8%
27	38	74
3.0%	4.5%	5.7%
35	46	81
3.9%	5.4%	6.2%
16	24	66
1.8%	2.8%	5.1%
	2Q 924 130 14.1% 27 3.0% 35 3.9% 16	924 857 130 134 14.1% 15.6% 27 38 3.0% 4.5% 35 46 3.9% 5.4% 16 24





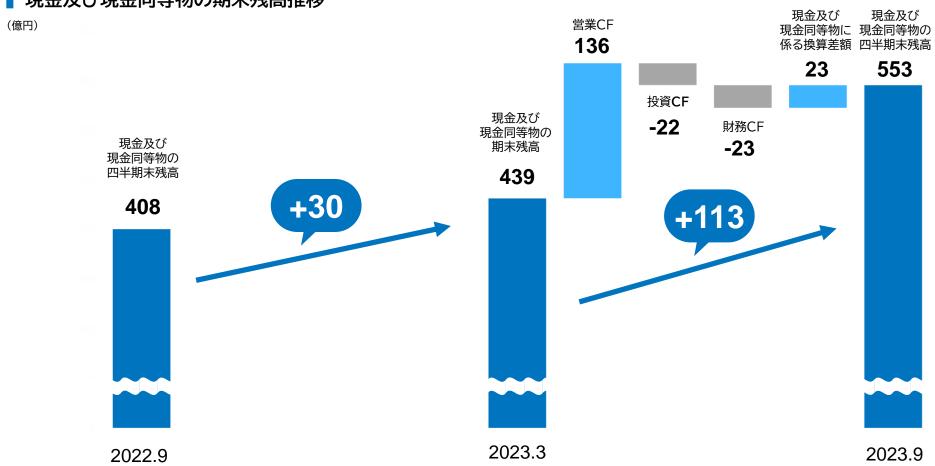
科目 (億円)	2023年 3月期	2024年 3月期2Q	増減
流動資産	1,844	2,001	156
現金預金	469	540	70
受取手形·完成工事未収入金等	1,242	1,140	-101
有価証券	0	80	80
未成工事支出金及び材料貯蔵品	31	28	-3
その他	107	218	110
貸倒引当金	-6	-6	0
固定資産	526	558	32
有形固定資産	85	95	9
のれん	36	37	1
その他無形固形資産	22	23	0
投資有価証券	264	281	16
繰延税金資産	5	5	-0
その他	115	117	2
貸倒引当金	-5	-2	2
資産合計	2,371	2,560	189

科目	2023年 3月期	2024年 3月期2Q	増減
流動負債	959	1,039	80
支払手形·工事未払金等	554	604	49
未成工事受入金	233	219	-13
工事損失引当金	3	2	-0
その他	168	213	44
固定負債	91	110	19
負債合計	1,051	1,150	99
純資産	1,319	1,409	89
資本金	64	64	-
資本剰余金	35	36	0
利益剰余金	1,002	1,045	42
自己株式	-11	-16	-4
その他有価証券評価差額金	105	122	16
繰延ヘッジ損益	-0	-1	-0
為替換算調整勘定	47	78	30
退職給付に係る調整累計額	14	13	-0
非支配株主持分	62	66	4
負債純資産合計	2,371	2,560	189



営業CF:売上債権の減少などによりプラス

■ 現金及び現金同等物の期末残高推移

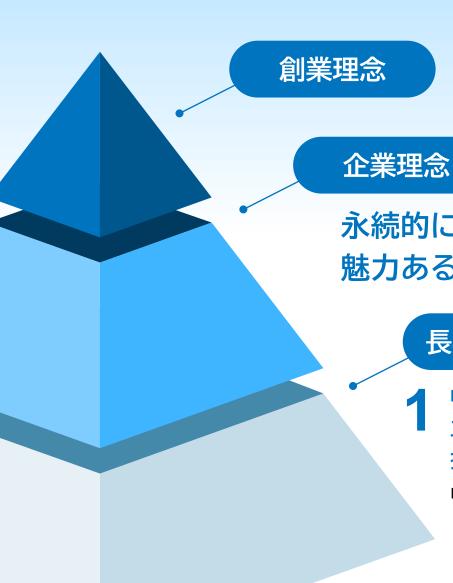




目次 INDEX

1. 連結業績の概要		P.03
2. セグメント別業績の概要		P.08
3. 連結財務諸表		P.22
4. 中期経営計画の進捗 (2022年度~2024年度)	経営企画本部長:中川 正徳	P.26
5. 株主還元		P.38





「顧客第一」

永続的に成長し、社会に貢献する会社づくり 魅力ある会社づくり

長期ビジョン

Innovative Engineering

エネルギー・空気・水の創造的なエンジニアリングにより、 持続可能な社会へ貢献する

Innovative Engineering for a Sustainable Society- with energy, air and water -

Diversity & Inclusion 多様な人材・知見を活かし、 インクルーシブなグローバル企業となる

Diversity & Inclusion as a Global Company



2024年3月期の中期経営計画の目標を上回る予定

		5年後の目指す姿			
(億円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	2024年3月期 目標	2025年3月期 目標	2027年3月期 目標
受注工事高	2,886	2,255	2,230	2,360	2,700
完成工事高	2,147	2,850	2,235	2,380	2,650
経常利益	130	155	135	150	165
親会社株主に帰属する当期純利益	79	105	91	96	
ROE	6.3%	8.2%	7.0%	7.2%	
DOE	3.2%	3.2%を目	指し、安定的な配当	を実施	
自己株式取得	30	年間	20億円を目途に実放	布	
政策保有株式の保有額対純資産比	21.8%	2024年3月期までに、20%未満に削減			

^{※「}目標」は2022年5月16日開示の中期経営計画の数値目標



中期経営計画で掲げた非財務目標に加えて、 2023年4月25日にTCFD提言に基づく気候関連情報の開示を行った

非財務目標

事業活動に伴うCO2排出量(スコープ1·2) ⇒ 2030年までに46%削減(2015年度実績比)

TCFD提言に基づく気候関連情報の開示 TCFD | TASK PORCE IN CHARGE FLATED | TASK PO

ガバナンス

業務執行取締役の報酬体系について非財務指標を一定割合導入し、気候変動に対する活動の強化を後押しする方向で見直し

■ 戦略/リスク管理

- 2035年において当社への影響度が高いリスクと機会を洗い出し
- リスクマネジメント委員会を設置し、気候変動を含む重大なリスクの 低減と顕在化するリスクの最小化に努める

重要なリスク・機会	想定される対応策
炭素税	GHG削減目標の設定低炭素技術・システム開発再生可能エネルギー業界への参入
顧客行動の変化 省エネ・再エネ技術の普及	エネルギー循環システムの構築塗装技術の改善・習得・商品開発推進CO2回収・循環技術等の開発
平均気温の上昇	植物工場事業の多角展開施工における機械化・自動化の推進労働環境の整備・熱中症対策の推進

指標と目標

CO₂排出量について事業ごとに2050年・2030年の目標を設定

	環境システム事業	塗装システム事業
2050年 削減目標	CO2排出量80%削減 ※ (2013年度比)	将来のエネルギー変革 を加味した技術で、自 動車1台あたりCO2排 出量を実質ゼロ化
2030年 マイル ストーン	CO2排出量25%削減 ※ (2013年度比)	現状の塗装工程の熱源 構成のまま、自動車の CO2排出量を60kg- CO2/台まで削減
2022年度 取り組み (実績)	建築物のライフサイクル を通じて、使用エネル ギーを抑制するシステ ムを提案し、優れた「低 炭素化」「環境負荷低 減」技術を提供	塗装ラインのエネル ギー試算モデルを活用 し、設備の高効率化・小 型化を図り、再生可能 エネルギーや低温排熱 改修システム等を導入

※ 当社の設計施工による設備の運用段階における削減目標



2023年3月期は、合計39億円実施

	2024年3月期上期までの主な実施内容	2023年3月期 実績	2024年3月期 計画	2025年3月期 計画
事業関連投資	 インドの連結子会社 Nicomac Taikisha Clean Rooms Private Limitedへの出資比率引き上げ 	25億円		
設備•人材投資	BIMを始めとする現場DX運用検証費用(構築中)グローバルな基幹業務システムの構築費用(構築中)	6億円	160) 億円
技術開発投資	・ 本社にR&Dサテライト設置・ 新技術開発センター計画中(2024年5月完成予定)・ ドライ加飾技術の開発実施中、国内R&D施設に実証ラインを設置予定。	7 億円		

中期経営計画期間 3か年合計

200億円



	基本方針		方向性	取組み		
			付加価値を 生み出し続ける事業展開	・カーボンニュートラルの実現に向けた脱炭素ビジネスへの取組み・顧客・プロジェクトの技術ニーズに応え続ける体制とプロフェッショナルの育成		
		- 環境システム 事業	技術の大気社を強化	新技術開発センター・R&Dサテライトの活用による顧客ニーズの把握・共同開発営業部門と開発部門の協働による顧客への積極的な技術提案とシーズの掘り起こし		
	コア事業の さらなる強化	<i>7</i> .//	業務の仕組みの改善と 生産性向上	・ 働きやすさ向上のため業務のデジタル化・DX化 ・ ムリ・ムダ・ムラをなくす業務プロセス変革 ・ サプライヤーとの関係強化と共に成長できる仕組みづくり		
1	当社の強みである 追求型の課題解決により 継続的に付加価値を創出する		国内外での 確固たる地位の確立	・非日系顧客のニーズに応える技術の多様化・パートナー企業との協働による、非四輪新規顧客へのアプローチ・海外ネットワークを活用した、現地に根差した事業展開		
	歩巡5117111	塗装システム 事業	グローバルな 社会課題を意識した開発	・カーボンニュートラル実現のため、技術開発により顧客の生産技術の変革に貢献・海外拠点と連動した開発体制の構築		
			業務の仕組みの改善と 生産性向上	 業務プロセスのデジタル化による現場業務の遠隔化、自動化 グローバルな教育プログラム設計 プロジェクト管理体制の見直しによる人員最適化 		
		知的財産戦略の立案・推進		• 自社の知財・無形固定資産を活用した経営戦略を推進		
		顧客視点の開発		• アクセスの良いR&Dサテライトを設置し、積極的な顧客ニーズの把握を推進		
	新たな	オープンイノベーション		・ 新技術開発センターをオープンし、学術機関・スタートアップ企業との融合による革新的技術開発を推		
2	価値創出への挑戦自社の技術と			グリーン機器事業 ・ 空調設備業と製造業の融合でニッチな分野の事業創造		
	外部知見との融合により イノベーションを生み出し、	強みとなる技術	の水平展開	オートメーション事業 ・ ロボット制御技術に注力し、自動サンディング装置などの非四輪市場を開拓		
	事業領域を拡大する			植物工場事業 ・プラント建設と工場野菜の生産販売の積極的市場開拓により、ブランド確立へ		
		新規事業の開拓	ī	・ 知財の活用、R&Dを通じた外部知見との融合から、新規事業を追求		
	変革・成長を支える 経営基盤の強化 事業構造の転換に向け、人的 資本・デジタル戦略・ガバナンス に重点を置いて取り組む	人的資本の育成・確保		・イノベーションを生み出す組織風土づくり・ 社員エンゲージメントの向上・ 計画的な人材価値の開発		
3		新たな価値提供	に向けたデジタル戦略	・ 現場のデジタル化・DX化による生産性向上 ・ グローバルなIT・DX体制構築 ・ 研究開発・新事業創出に向けたデジタル融合		
		グループガバナ	ンス体制強化	・ 資本コストを踏まえた事業ポートフォリオマネジメント・ 関係会社の取締役会・監査機能の実効性強化		



新時代のパーソナル空調へ 人追従吹出口「FOLLOAS」を開発 ~作業環境の改善や省工ネを実現~

当社は、画像認識技術を活用し、人の動きに追従して冷風を吹く吹出口システム「FOLLOAS」を開発しました。 作業者の快適性の向上や、全体の給気量の低減による省エネ・CO2削減効果も期待できます。

【開発の背景】

工場では、従来固定式吹出口による個別空調が採用されていましたが、固定式では作業者の移動範囲をすべてカバーすることはできず、夏期の工場業務が厳しいものとなる場合もありました。 当社では近年、ICTを活用した技術開発を進めており、特に画像認識技術の既存技術への応用に注力しています。

こうした中、当社が長年培ってきた空調制御技術と画像認識技術を組み合わせることで、よりパーソナルな空調の実現に向けて、対象者に追従して給気方向が変わる本製品を開発しました。

【今後の事業展開】

現在、作業環境の改善や暑熱対策、さらには工場全体の省エネを検討されているお客さまに対し、すでに導入提案を進めています。また、複数の工場において試験的導入や耐久性検証を行っており、それらを踏まえて量産化に着手する予定です。2025年までには年間販売台数3,000台を目指し、量産化に向けた体制の構築を進めてまいります。



製品イメージ



「SURCAR」においてJury's Award受賞

~「ドライ加飾技術※:自動車製造における新世代コーティングメソッド」を発表~

2023年6月にアメリカ・デトロイトで開催された、塗装業界で最も権威のある国際カンファレンスのひとつである自動車塗装技術国際会議「第6回SURCAR2023 in Detroit」にて、当社グループ企業であるTKS Industrial Companyと日本ペイント・オートモーティブコーティングス株式会社の共同発表が、審査員投票で最も評価された発表に贈られるJury's Awardを受賞しました。ドライ加飾は、被塗物の大きさの制限や、複雑な形状物への貼合が課題となっていましたが、今回の発表では、高さ700mm以上の曲率の大きい一体型バンパーにも、フィルム延伸率を100%以下に制御することで、シワなく色味の変化を抑えたドライ加飾を実現した点が高く評価されました。

【今後の事業展開】

ドライ加飾プロセスの確立に向けて、近く自社研究施設内に、 量産ラインを想定したドライ加飾システムのデモラインの構築も 計画しています。今後も、自動車外装の付加価値提供技術とな るドライ加飾の技術開発を通し、脱炭素社会の実現に貢献して いきます。

※ 従来のスプレー塗装(ウェット塗装)に代わり、フィルムを加熱・真空圧空加圧によって貼り付けることで、自動車外装などをフィルム加飾(ドライ加飾)する技術。従来の塗料を使用した塗装に比べて加工工場での直接排出部分で大幅に使用エネルギーを抑えることができる。



実績および進行中の取り組み①



					社会	価値の	創出	
基本 方針			緩和と適応気候変動の	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	人材確保と	整備 環境の	G ガバナンス 実効性の高い	
				適動 応の 	組荷止 み低と 減	成保と	境 す の い	ンレの スト・
	環暗	付加価値を 生み出し続ける 事業展開	半導体関連やEV電池関連などのハイエンドの設備が必要な顧客への対応や、次世代スペシャル人材の育成を推進中。	0	0			
コア事業のさらなる強化	プラステム事業 接続の大気社を 空機化 ・ 設計部門の強化とグローバル人材の育成を推進中。 ・ 医MS推進のための体制構築中。 ・ 当社と協力業者との間にある課題共有、対策検討中。 ・ 当社と協力業者との間にある課題共有、対策検討中。 ・ 当社と協力業者との間にある課題共有、対策検討中。 ・ 国際カンファレンスへの積極的な参加などを通じ、グローバルブランディング戦略を展開。 ・ カーボンニュートラル関連の技術開発実施中。カーボンニュートラルに関連した顧客への技術者派遣や技術交流など顧客との協業も同時に推進中。 ・ 国内外開発拠点・ラボ・ショールームのグローバル展開および連携強化継続中。開発精度の向上を図るため、ラボテストの状況を拠点間で共有するリアルタイムコミュニケーションシステムの導入を検討中。 ・ BIMクラウドサービスを活用した3D作図・設計業務のグローバル連携で「24h 眠らない設計体制」を構築中。			0	0			
				0	0			
		確固たる地位の	顧客へのアプローチを実施中。 国際カンファレンスへの積極的な参加などを通じ、グローバルブランディング戦		0			
		顧客への技術者派遣や技術交流など顧客との協業も同時に推進中。 • 国内外開発拠点・ラボ・ショールームのグローバル展開および連携強化継続中。 開発精度の向上を図るため、ラボテストの状況を拠点間で共有するリアルタイム コミュニケーションシステムの導入を検討中。	0	0				
	事業	業務の仕組みの 改善と生産性向上	 BIMクラウドサービスを活用した3D作図・設計業務のグローバル連携で「24h 眠らない設計体制」を構築中。 施工現場のビジュアル遠隔管理システム運用、eラーニングによる各国ナショナルスタッフの教育・スキルアップを推進中。 膨大な過去のビッグデータから、AIによる情報自動抽出により、進行中プロジェクトにタイムリーアドバイスシステムを構築中。 			0	0	

実績および進行中の取り組み②



					社会価値の創出				
基本					Ę		S		
方針	方向性		実績および進行中の主な取り組み		への取組み 環境負荷低減	人材育成	整備 環境の	ガバナンスコーポレート・	
	知的財産戦	略の立案・推進	・ 自社の知財・無形固定資産の有用性検証中。・ 環境システム事業、塗装システム事業と連携して、知的財産戦略を立案・推進中。・ 知財に関する社内教育の継続、および発明に関する規程の改定実施。			_			
	顧客観点の開発 オープンイノベーション		• 2023年4月に、アクセスの良いR&Dサテライト「TAIKISHA INNOVATION GATE Shinjuku」を本社に開設し、顧客への照会開始。潜在的顧客ニーズの把握と、新たな価値を創造する製品開発を検討中。	0	0				
新たな			 新技術開発センター計画中(2024年5月完成予定)。 R&Dサテライトとの連携による技術体験を通じた顧客とのコミュニケーションの拡大と、顧客視点の技術開発推進を目指す。 	0	0				
新たな価値創出への挑戦	グリーン機器 事業 強みとなる 技術の 水平展開 オートメーション 事業		 精密温調チャンバー^{※1}の受注活動推進中。 ※1 半導体製造において装置まわりや、超精密加工や測定、検査を可能にする環境空間を構築する設備 排気処理装置のラインナップ拡充を実施中。 人の動きに追従して冷風を吹く吹出口システム「FOLLOAS」の量産化に向けた体制の構築実施中。 	0	0				
		 オートメーション領域の拡大に向けた取り組みを実施中。 新規顧客獲得のための活動として、展示会を活用した活動を継続実施中。 高塗着効率技術の市場投入に向け、各種検証実施中。 ドライ加飾技術の開発実施中、国内R&D施設に実証ラインを設置予定。開発課題を海外R&D拠点と共有することで、開発速度を加速中。 	0	0					
		植物工場事業	・ 自社工場にて実証実験継続中。市場開拓の戦略については継続検討中。	0	0				
	新規事	業の開拓	 大学、研究機関、民間企業と、市場調査に基づき、社会実装時のビジネスモデルを 想定した新規事業に資する共同研究を実施中。 	0	0				



			社会価値の創出					
基本			E への取組み環境負荷低減 環境負荷低減		S		G	
方針	方向性	実績および進行中の主な取り組み			人材確保 と	整備環境の	ガバナンスコーポレート・実効性の高い	
変革・成長を支える経営基盤の強化	人材資本の育成確保	 当社事業の推進に合致する意欲・能力の高い人材の獲得(新卒採用75名、キャリア採用27名)。 上位職者層を長期に渡り計画的に育成するための制度、プロフェッショナル人材の顕彰制度の整備と運用開始。 キャリアプラン制度のブラッシュアップ、人材データベース活用による効果的な適所適材の配置と業務付与を一部開始。 社内風土向上の一環として上司だけではなく、同僚や部下からの評価なども含めた360度フィードバック制度を一部開始。拡大検討中。 「健康経営優良法人(ホワイト500)」認定取得(総合順位301~350位)。 長時間労働対策として主に現場業務に従事する社員の実態把握と、課題および職場環境改善対策案を検討中。 			0	0		
	新たな価値提供に 向けたデジタル戦略	 設計・積算・施工管理などのプロジェクトにおける各工程の生産性向上のためのデジタル化・DX化を推進中。設備BIMの標準化と普及・推進に向けた「設備BIM研究連絡会」に参加し活動開始。 グローバルなIT・DX体制構築検討中。そのうち、セキュリティに関わるIT管理体制の構築開始。 デジタル人材の育成強化策を検討中。 			0	0		
	グループガバナンス体制強化	 事業ごとの資本収益性を図る経営指標の導入を検討中。 事業ポートフォリオマネジメントを意識した管理を組織的に実施するための「事業投資ガイドライン」の運用を開始し、拠点モニタリングを実施。 関係会社取締役会の役割・責任範囲を明確にし、実効性向上のための諸施策を実施。同取締役会の機能強化を行うとともに、本社によるモニタリング体制強化を実施中。 					0	



中期経営計画期間において100億円の政策保有株式売却、2年目までに、 政策保有株式(みなし保有株式を含む保有額)の保有額を対純資産比20%未満に削減

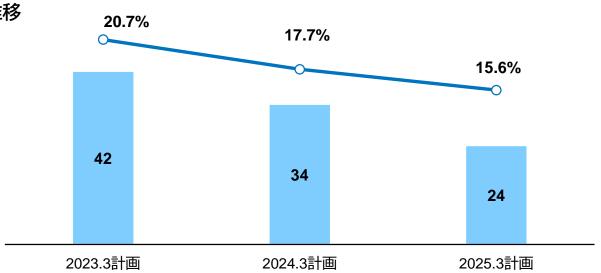
中期経営計画期間の計画値

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	合計
売却金額	42億円	34億円注1	24億円	100億円
純資産比率	20.7%	17.7%注2	15.6%	

注1...うち25億円は、2023年4月1日~9月30日の間に売却済み 注2...2023年9月末時点の純資産比率は、21.7%

▮ 政策保有株式 計画推移

(億円) 売却金額 ◆ 純資産比率





目次 INDEX

6. Appendix		P.41
5. 株主還元	経営企画本部長:中川 正徳	P.38
4. 中期経営計画の進捗 (2022年度~2024年度)		P.26
3. 連結財務諸表		P.22
2. セグメント別業績の概要		P.08
1. 連結業績の概要		P.03



中期経営計画期間は予定通り増配を見込む

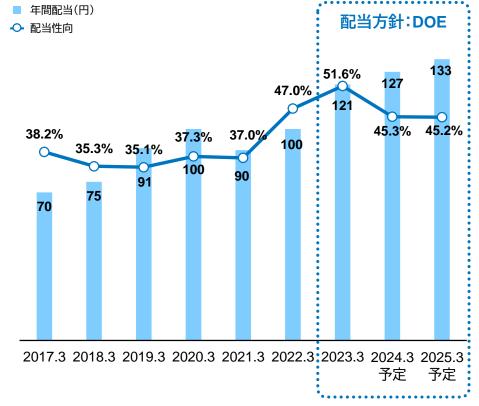
【配当方針】 連結自己資本配当率 (DOE) 3.2%を目指し、安定的な配当を実施



2024年3月期年間配当金は、127円に増配予定

自己資本·DOE 推移 ■ 自己資本(億円) 配当方針:DOE O DOE 3.25% 3.28% 3.29% 3.15% 2.90% 2.78% 2.69% 2.57% 2.55 1,325 1,290 1,**24**6 1,**25**7 1,210 1,087 1,082 1,051 957 2017.3 2018.3 2019.3 2020.3 2021.3 2022.3 2023.3 2024.3 2025.3 予定

配当•配当性向 推移





配当と自己株式取得を合わせて、高い水準を維持

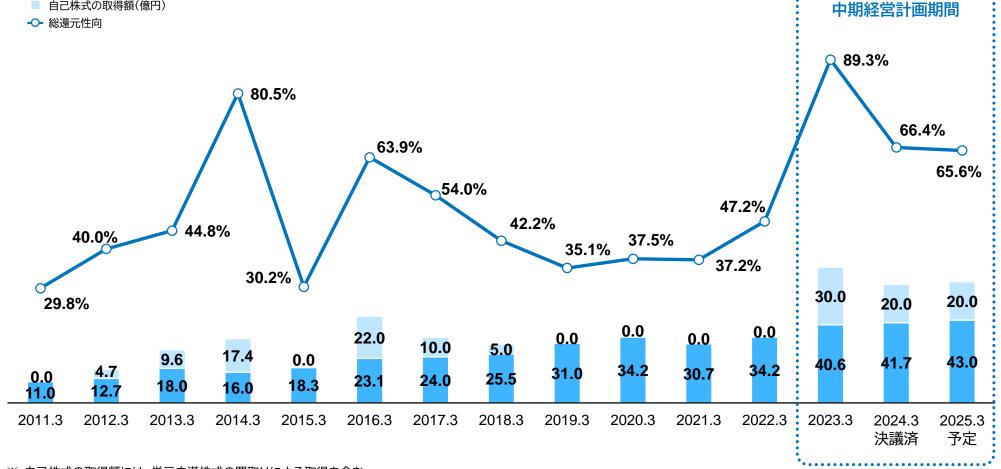
【自己株式取得の方針】

資本効率の向上と機動的な財務政策の実現を目的として、自己株式の取得を 年間20億円を目途に実施予定(2024年3月期20億円決議済)

株主還元額·総還元性向推移



自己株式の取得額(億円)



※ 自己株式の取得額には、単元未満株式の買取りによる取得を含む

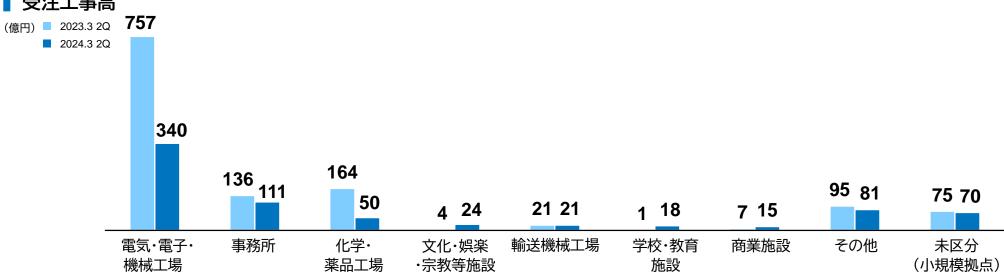


目次 INDEX

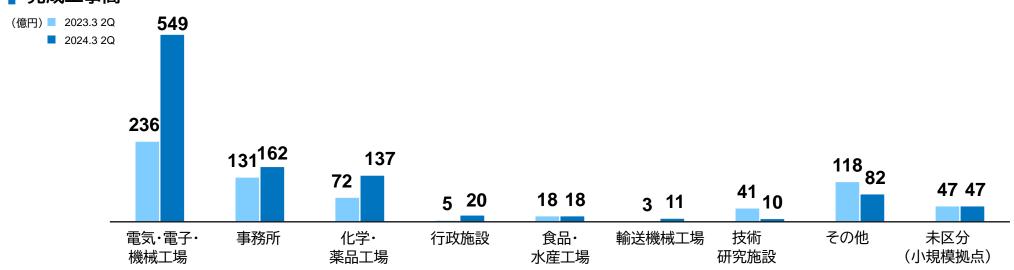
6. Appendix	P.41
5. 株主還元	P.38
4. 中期経営計画の進捗 (2022年度~2024年度)	P.26
3. 連結財務諸表	P.22
2. セグメント別業績の概要	P.08
1. 連結業績の概要	P.03







完成工事高



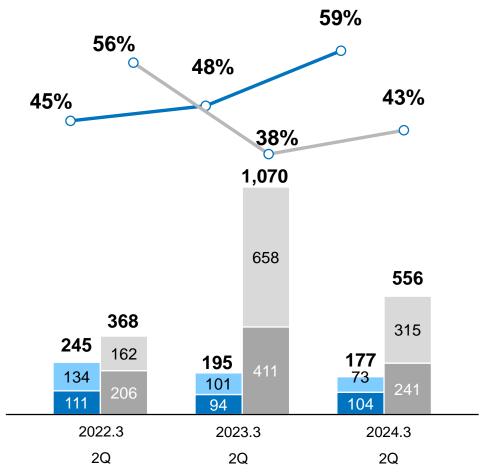
環境システム事業 受注・完成工事高リニューアル推移



■ 受注工事高

(億円)

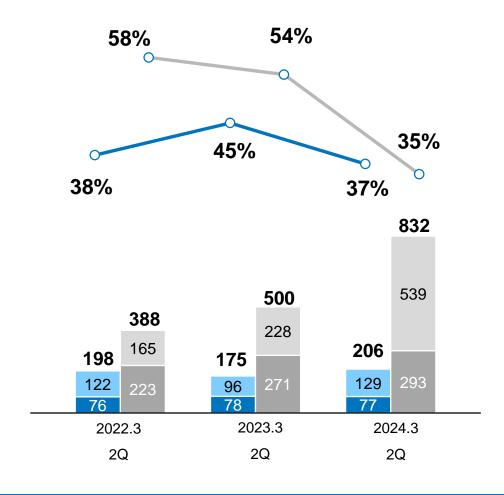
- ビル空調(リニューアル)
- ビル空調(新築)
- ◆ ビル空調リニューアル比率
- 産業空調(リニューアル)
- 産業空調(新築)
- -○- 産業空調リニューアル比率



完成工事高

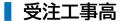
(億円)

- ビル空調(リニューアル)
- ビル空調(新築)
- ◆ ビル空調リニューアル比率
- 産業空調(リニューアル)
- 産業空調(新築)
- -○- 産業空調リニューアル比率



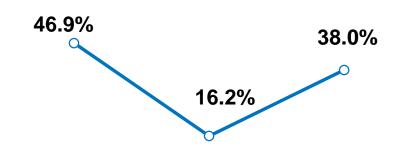
塗装システム事業 非日系メーカー受注・完成工事高比率





(億円)

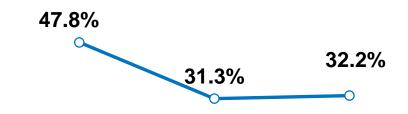
- 日系
- 非日系
- -○ 非日系比率

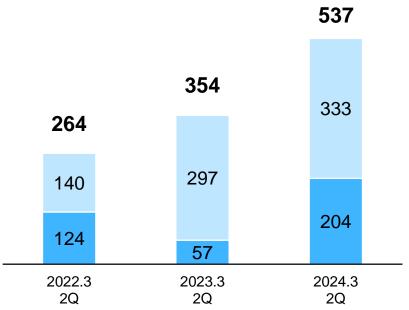


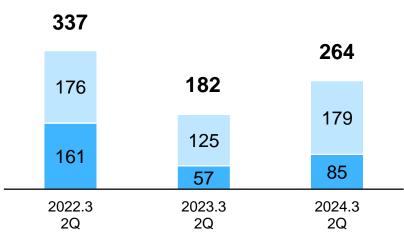
完成工事高

(億円)

- 日系
- 非日系
- ◆ 非日系比率





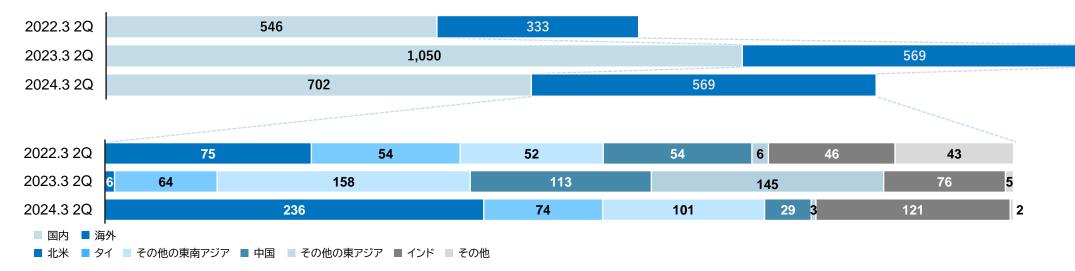


※ 日系メーカーの集計値には、海外日系合弁会社(日系メーカー出資会社の全てを含む)の受注・完工を含む

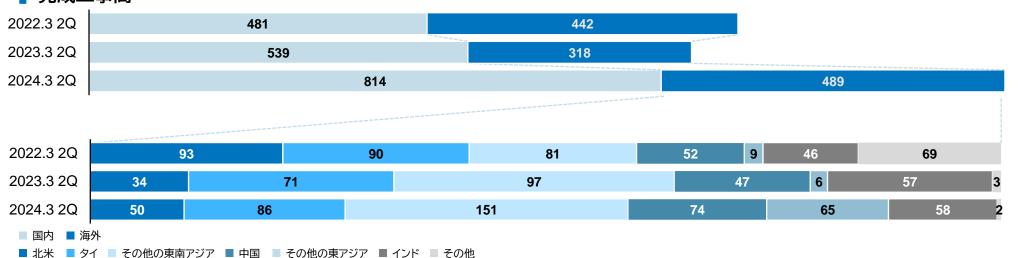
海外受注・完成工事高の推移(施工地別)



受注工事高



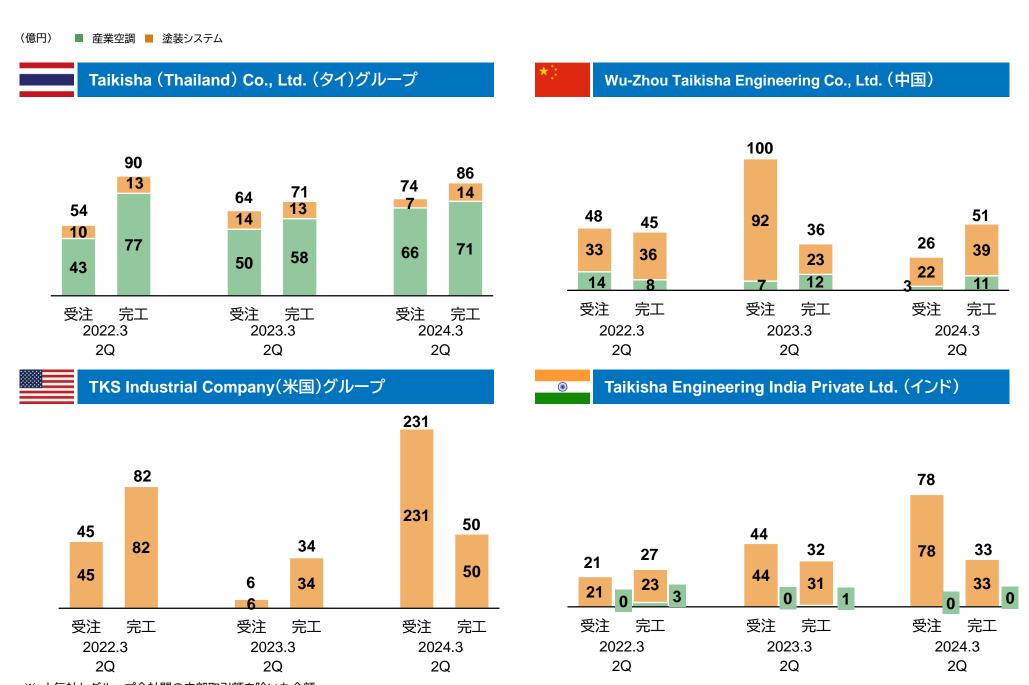
完成工事高



※当セグメントデータは、外部顧客への受注・完成工事高のみの数値

※主な国または地域・東南アジア:シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、他・東アジア:台湾、韓国・北米:アメリカ、カナダ、メキシコ・その他地域:ロシア、南米、他







将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社大気社 経営企画本部 経営企画部 IR課

TEL:03-5338-5052 FAX:03-5338-5195